

# 見どころ案内

## ウツギ (アジサイ科)

園内各所で野生していて、白い花をたくさん咲かせています。幹が空洞なので空木、あるいは旧暦の4月(卯月)頃に花を咲かせるので卯木になったといわれています。

## モリアオガエルの卵塊

日本庭園フジ棚近くのカエデの枝に、夜産み付けられた泡に包まれた卵塊を観察することができます。雨上がりの翌朝が狙い頃です!

**展示会のご案内**

- ◇展示温室 (5/26~6/7)
- セントポーリアとイワタバコの仲間展
- ◇屋外展示場 (5/26~29)
- 遅咲きクレマチス展
- ◇展示資料館 (5/8~6/6)
- 趣味のボタニカルアート展

## バラ (バラ科)

モダンローズ、オールドローズ、世界の野生種、広島に関わるバラなど700種を植栽しています。詳しくはローズフェスティバル 2018 ガイドマップをご覧ください。

## マイヅルテンナンショウ

(サトイモ科)  
葉の形が、鶴が羽根を広げたところに似ているので、この名があります。絶滅危惧種です。

## 大温室

### リニューアル

日本一のバオバブやベンガルボダイジュなど650種5000本の植物を展示。

## セイヨウニワトコ

(レンプクソウ科)  
薬用に利用される植物です。花には強い香りがあります。秋には黒い実を付けます。

## カスケード花壇の植物

見事な穂状花を咲かせているのはデルフィニウム。花をツバメが飛ぶ姿に見立てて和名は大飛燕草(オオヒエンソウ)。ピンクのかわいらしい花を多数咲かせているのはリクニス。オレンジや黄色の鮮烈な花はナスたちウム。花言葉は勝利。カープコラボTシャツのデザインにも採用されています。アリウム・ギガンチウムも見頃です。

## オランダボダイジュ

(シナノキ科)  
淡い黄色の花が多数咲いています。寺院によく植えられています。お釈迦様が悟りを開いた菩提樹とは異なります。

## ヤマボウシ (ミズキ科)

白く花卉に見えるのは、苞葉(ほうよう)で先がとがります。仲間のハナミズキが凹むのと対照的です。

## ベゴニア・センパフローレンス

(シュウカイドウ科)  
開花期が長く、小型の草姿に鮮やかな花色がメリハリのある模様を作り出し、花壇などに良く利用されています。大花壇ではカープの模様を描いています。

